



## 2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年7月27日

上場会社名 中部鋼板株式会社  
 コード番号 5461 URL <https://www.chubukohan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重松 久美男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 上杉 武  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名  
 TEL 052-661-3811

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	12,732	14.0	481	61.4	540	58.0	349	59.9
2018年3月期第1四半期	11,165	36.4	1,247	72.7	1,286	83.2	871	84.8

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 283百万円 (71.3%) 2018年3月期第1四半期 989百万円 (182.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	12.46	
2018年3月期第1四半期	31.03	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	66,259	58,333	87.5
2018年3月期	67,517	58,417	86.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 57,990百万円 2018年3月期 58,082百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		9.00		10.00	19.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		7.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,300	21.4	1,000	55.3	1,000	55.7	600	60.2	21.37
通期	53,100	17.1	2,400	20.5	2,400	21.2	1,500	36.3	53.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	30,200,000 株	2018年3月期	30,200,000 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,239,704 株	2018年3月期	2,127,404 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	28,027,046 株	2018年3月期1Q	28,072,636 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策の効果により雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外におきましては、米国の保護主義的な政策により米中貿易摩擦の懸念が高まるなど、先行き不透明な状況となっております。

当社グループの主力セグメントである鉄鋼関連事業におきましては、建設機械需要や土木需要、ならびに首都圏再開発や物流施設等の非住宅向け建築需要が堅調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は127億3千2百万円と前年同期比15億6千7百万円の増収、経常利益は5億4千万円と前年同期比7億4千6百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4千9百万円と前年同期比5億2千1百万円の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### (鉄鋼関連事業)

鉄鋼関連事業につきましては、当社の主要製品である厚板の需要が堅調に推移したことにより、販売数量・販売価格とも前年同期を上回ったものの、主原料である鉄スクラップ価格の高止まりに加え、諸資材価格も値上がりしたため、製造コストは大幅に増加しました。

その結果、売上高は121億9千万円と前年同期比15億6千2百万円の増収、セグメント利益(営業利益)は4億6千4百万円と前年同期比7億3千5百万円の減益となりました。

#### (レンタル事業)

レンタル事業につきましては、厨房用グリスフィルターの受注量増加や厨房工事の増加により、売上高は1億4千5百万円と前年同期比3百万円の増収となったものの、人件費の増加等によりセグメント利益(営業利益)は2千4百万円と前年同期比3百万円の減益となりました。

#### (物流事業)

物流事業につきましては、危険物倉庫の取扱量が増加したことにより、売上高は1億2千6百万円と前年同期比5百万円の増収となりましたが、賃借料の増加等によりセグメント利益(営業利益)は3千4百万円と前年同期比1千万円の減益となりました。

#### (エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業につきましては、案件の着実な受注に努めましたが、売上高は2億7千万円と前年同期比3百万円の減収となり、セグメント損失(営業損失)は6千1百万円(前年同四半期連結累計期間のセグメント損失(営業損失)は2千8百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産状況

##### (資産の部)

流動資産は、386億8千3百万円で、前連結会計年度末より、6億7千1百万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が増加したものの、有価証券、現金及び預金が増加したことによるものです。

固定資産は、275億7千5百万円で、前連結会計年度末より、5億8千6百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産において、減価償却が進んだことによるものです。

##### (負債の部)

流動負債は、68億4百万円で、前連結会計年度末より、12億4百万円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等、未払金、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

固定負債は、11億2千1百万円で、前連結会計年度末より、3千万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債が増加したことによるものです。

##### (純資産の部)

純資産は、583億3千3百万円で、前連結会計年度末より、8千4百万円の減少となりました。その主な要因は、自己株式を取得したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては2018年5月2日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありませんが、マーケット環境の変化も予想されますことから、今後、業績予想の修正を行なう必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

また、当期配当につきましては、中間配当金1株当たり7円を予定しております。なお、期末配当金につきましては、現時点では未定としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,482	6,002
受取手形及び売掛金	16,142	16,679
有価証券	9,804	9,001
商品及び製品	2,616	2,903
仕掛品	1,275	1,241
原材料及び貯蔵品	2,938	2,749
その他	93	105
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	39,355	38,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,005	7,919
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	12,471	12,041
土地	1,752	1,752
建設仮勘定	70	157
その他（純額）	5	5
有形固定資産合計	22,306	21,877
無形固定資産	123	113
投資その他の資産		
投資有価証券	4,644	4,577
長期貸付金	2	1
退職給付に係る資産	8	8
繰延税金資産	435	378
その他	642	620
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	5,731	5,584
固定資産合計	28,161	27,575
資産合計	67,517	66,259

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,789	5,575
未払金	541	322
未払法人税等	756	125
未払消費税等	244	174
賞与引当金	402	206
役員賞与引当金	4	1
その他	269	399
流動負債合計	8,008	6,804
固定負債		
役員退職慰労引当金	10	11
退職給付に係る負債	978	1,011
その他	101	97
固定負債合計	1,090	1,121
負債合計	9,099	7,926
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	4,668	4,668
利益剰余金	47,867	47,936
自己株式	△1,044	△1,131
株主資本合計	57,398	57,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	752	703
為替換算調整勘定	8	△27
退職給付に係る調整累計額	△76	△66
その他の包括利益累計額合計	684	610
非支配株主持分	334	343
純資産合計	58,417	58,333
負債純資産合計	67,517	66,259

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	11,165	12,732
売上原価	8,806	10,969
売上総利益	2,359	1,763
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	540	692
役員報酬及び給料手当	222	240
賞与引当金繰入額	70	74
退職給付費用	24	25
その他	255	249
販売費及び一般管理費合計	1,112	1,282
営業利益	1,247	481
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	42	36
受取賃貸料	17	17
為替差益	—	11
雑収入	3	4
営業外収益合計	66	73
営業外費用		
支払利息	1	1
固定資産処分損	18	4
為替差損	0	—
雑損失	6	8
営業外費用合計	26	14
経常利益	1,286	540
税金等調整前四半期純利益	1,286	540
法人税等	404	182
四半期純利益	882	358
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	871	349



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	882	358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	△48
為替換算調整勘定	△13	△35
退職給付に係る調整額	16	10
その他の包括利益合計	107	△74
四半期包括利益	989	283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	978	274
非支配株主に係る四半期包括利益	11	9

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	10,628	141	121	274	11,165
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	10	1	575	141	728
計	10,638	143	696	416	11,894
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,200	28	44	△28	1,244

## 2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,244
セグメント間取引消去	8
全社費用(注)	△6
四半期連結損益計算書の営業利益	1,247

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	12,190	145	126	270	12,732
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	14	1	729	187	933
計	12,205	146	855	458	13,666
セグメント利益又はセグメント損失(△)	464	24	34	△61	462

## 2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	462
セグメント間取引消去	24
全社費用(注)	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	481

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。